

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 間伐・森林循環担当
 内線: 4321

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P4	森林循環利用促進事業		一般会計	農林水産業費	林業費	造林対策費	森林整備推進事業費	
事業期間	令和 2年度～	根拠法令例	森林法193条、森林・林業基本法6条、彩の国みどりの基金条		針路	10 豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	7
					分野施策	1001 みどりの保全と創出	SDGsターゲット	7-2
1 事業概要 木材価格の長期低迷等により、伐採・再造林による森の若返りが進まずCO2吸収等の森林の公益的機能が低下している。このため、木材生産に取り組む林業事業者等を支援し、森の若返りを促進して温暖化の防止に寄与するとともに、「伐って・使って、植えて、育てる」森林の循環利用の推進と山村地域の活性化を図り、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する。 今般国の総合経済対策として補正予算が措置されたことを踏まえ、早期に実施可能な箇所について前倒しで実施するものである。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 皆伐・再造林補助 144,890千円 → 178,746千円 一貫作業システムによる皆伐・再造林に取り組む林業事業者を支援することにより、森の若返りを推進し、森林の持つCO2吸収機能の向上を図る イ 保育補助 69,215千円 従来の手法に加えて、森林経営管理制度に基づく間伐等を適切に実施し、森林資源の充実と質的向上を図る (2) 事業計画 ア 皆伐・再造林面積 50ha → 56ha イ 保育面積 118ha (3) 事業効果 ア 森林資源の循環利用促進、県産木材の安定供給及び需要の拡大、未利用木材のバイオマス利用 イ 森の若返りによるCO2吸収促進や花粉発生の抑制、生物多様性の保全等、公益的機能の増進 ウ 木質資源のフル活用、雇用創出による山村地域の活性化、林業の持続的発展 【活動指標（アウトプット）】皆伐・再造林 56ha、保育 118ha 【成果指標（アウトカム）】若返りが図られた森林 56ha、公益的機能の持続的発揮が図られた森林 118ha (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 森林組合等林業事業者の連携を強化し、皆伐と再造林の一貫作業により森林の健全化を図る等の新たな取組を行い県内及び全国への波及・拡大を目指す (5) 補正予算の概要 国の補正予算に伴う増額 33,856千円					
2 事業主体及び負担区分 (国3/10・県7/10)事業者0 (県10/10)事業者0			ア 皆伐・再造林補助 国の補正予算に伴う増額 33,856千円					
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） (区分)林野行政費（細目）森林整備保全費 (細節)森林整備保全費 (積算内容)造林関係								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×9.9人=94,050千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金	県債				
決定額	33,856	5,258	27,598	1,000			0	
現計額	216,736	89,767	84,010	31,000			11,959	

事業内訳書

事業名	森林循環利用促進事業		
単位事業名	皆伐・再造林補助	予算額	33,856千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 林業費補助金	5,258	—	造林事業費補助金 補助率3/10
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	27,598	—	
県債・ 農林水産業債	1,000	—	造林事業債
合計	33,856	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	33,856	—	林業事業者への補助金 皆伐・再造林面積6ha
合計	33,856	—	